

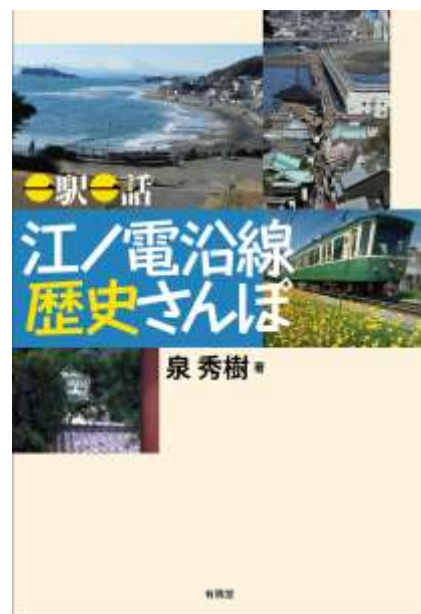
有隣堂のオリジナル出版物最新刊 10月29日発売

『一駅一話 江ノ電沿線 歴史さんぽ』

J:COM番組原作者・MC 泉 秀樹 が紹介する開業120年の江ノ電の歴史と謎

株式会社有隣堂（本社：神奈川県横浜市 代表取締役社長：松信 健太郎）は、10月29日より、当社オリジナル出版物の最新刊として、『一駅一話 江ノ電沿線 歴史さんぽ』を発売します。鉄道開業150年の今年9月、江ノ島電鉄は開業120年を迎えました。神奈川県を代表する観光地の江の島や鎌倉を走る人気路線の様々な歴史と謎を深掘りします。

- 書名：『一駅一話 江ノ電沿線 歴史さんぽ』
- 著者：泉 秀樹
- 出版社：有隣堂
- 定価：税込1,760円（本体1,600円＋税）
- 体裁：四六判・本文208頁
- 発売日：2022年10月29日予定
- 取り扱い：有隣堂各店（一部店舗除く）、全国の書店  
有隣堂藤沢店では、江ノ電開業120周年記念グッズを販売予定。  
（詳細は後日[ホームページ](#)にてお知らせいたします）



著者：泉 秀樹（いずみ ひでき）

1943年静岡県生まれ。藤沢市在住。慶應義塾大学文学部卒業。産経新聞、三田文学などで記者・編集者を経て、1973年小説『剥製博物館』で第5回「新潮新人賞」受賞。  
J:COM「泉秀樹の歴史を歩く」原作者・MC。著書『歴史を歩く 深掘り神奈川』PHP文庫ほか多数。

内容

江ノ電は今年開業120年を迎えた。藤沢～鎌倉間の10kmを結び、湘南観光の要として人々から愛されてきた沿線の歴史やドラマを1駅ごとに紹介する。著者は湘南在住、J:COM番組「泉秀樹の歴史を歩く」の原作と番組MCを務める泉 秀樹氏。番組で紹介された湘南地域の歴史の中から、訪ねやすい名所・史跡にからめて、文章と写真で読者にお届けする。

編集者が紹介する読みどころ

- 江ノ電は開業120年でも会社創業120年ではない

江ノ電は最初の藤沢－江ノ島（当時は片瀬）間の鉄道敷設に際して、江島詣を支えた人力車夫の反対を受け、路線を変更しての開業となりました。その後も鎌倉まで開通したものの、まだ電気の普及が一般的でない時代に片瀬に発電施設を設けた鉄道は、横浜電灯（現在の東京電力）に吸収されるなど会社経営は一筋縄ではいきません。昭和初期に現在の会社に経営権が移り、今に至っています。本書では、人気鉄道会社の知られざる変遷を知ることができます。

- 江戸時代から軍事に関わっていた

現在の藤沢駅の南側である鵜沼・片瀬あたりは、かつて茫漠な湿地帯であり、江戸後期には砲術演習場でした。明治以降も海岸地帯は軍隊（日本軍・米軍）によって使われていた歴史があります。

●多くの著名人、外国人などに関わりがある

この地域は、中華人民共和国国歌を作曲して鵠沼海岸で亡くなった聶耳の碑、亡命ロシア人パプロバ一家の日本バレエ発祥之地記念碑など、見落としてしまいがちな旧蹟も数多く存在します。本書では西行や阿仏尼など中世にこの地域を訪れた人たちや、幕末・明治期に日本を訪れ大仏を見た西洋人の様子も紹介しています。

有隣堂の情報紙『有鄰』582号(2022年9月発行)

著者の泉 秀樹氏 執筆による「湘南と江ノ電」を2面に掲載。

鉄道開通と藤沢の歴史を振り返るとともに、江ノ電沿線全15駅すべてに存在する歴史の深い謎を紹介しています。

“そして今、江ノ電沿線を眺めてみると、電車が全15駅すべて、歴史の深い謎に包まれていることに驚かされる”

<謎の一例>

⑥江ノ島：弁財天はどこから来たのか。頼朝は何を祈ったのか？江戸庶民はなぜ江の島を好んだのか？

⑧鎌倉高校前：「スラムダンク」に登場する駅前に集まる中国人と台湾人たち。ここは亡命ロシア人女性達もお気に入りの風景だった。ここがなぜ、日本のバレエの発祥の地となったのか？

⑩稲村ヶ崎：鎌倉へ攻め込んだ新田義貞は、なぜ稲村ヶ崎から？どのようにして鎌倉市中へ侵入したのか？

⑬由比ヶ浜：実朝は宋に憧れて巨大船を建造した。現代の日本人が西欧に憧れを抱くのと同じ感情である。怪しい宋の工人・陳和卿にそそのかされたこのプロジェクトは、なぜか狂ってくる？

⑮鎌倉：鶴岡八幡宮と段葛と鳥居の語りかけてくる日本の「神」の謎とは？

詳細は、『江ノ電沿線 歴史さんぽ』でお楽しみください。

(「湘南と江ノ電」より一部抜粋)

情報紙『有鄰』は、有隣堂全店にて配布中です。電子版でもご覧いただけます。

<https://www.yurindo.co.jp/yurin/31637/2>

●情報紙『有鄰』について

1967年12月創刊の情報紙。奇数月1日発行。

各界の一流執筆者による、神奈川の歴史・文化にちなんだテーマや、文学・芸術・時事問題などに関するエッセイ・論説を掲載。

電子版はこちらから <https://www.yurindo.co.jp/yurin/>

●有隣堂のオリジナル出版物のご紹介

有隣新書 <https://www.yurindo.co.jp/yurin/sinsho>

単行本 <https://www.yurindo.co.jp/yurin/tanko>

---